

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22007	事業名	公園施設長寿命化事業				評価分類	A1	
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成				款	08:土木費		
		施策の方向	03:安らぎのある都市の形成				項	04:都市計画費		
	重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト			目	02:公園管理費				
	事業期間	H 29 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等		都市公園法				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市が管理する公園は、設置から年数が経過し、公園施設の老朽化が顕在化してきている。今後は、進展する老朽化に対し、公園施設長寿命化計画に基づき、予防保全型管理や事後保全型管理による適切な公園維持管理を計画的に進める必要がある。	都市公園	長寿命化計画の対象公園である3公園(亀山公園・西野公園・東野公園)において、老朽化している施設の機能保全を行い、公園利用者の安全対策を図る。	公園施設長寿命化計画に基づき、3公園の施設の老朽化に対する更新を計画的に進める。特に、健全度がC・D判定である遊戯施設については、幼児や児童の安全対策を確保するため、優先的に修繕、更新を進める。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○公園施設更新工事		○公園施設更新工事		○公園施設更新工事		○公園施設更新工事		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		西野公園における藤棚の更新や複合遊具(インクルーシブ対応を含む)の更新工事が完了し施設の長寿命化が図られた。 亀山公園のローラースライダーについては、遊具更新のインクルーシブ対応に伴い、関係団体との懇談会や市民アンケートを実施し意見集約を行ったが、意見集約に時間を要したことから、工事の実施には至らなかった。		亀山公園大型複合遊具等の更新については、公募型プロポーザル方式により、わんぱく広場内にある遊具の一体的な整備が完了し、施設の長寿命化を図ることができた。		東野公園複合遊具等の更新については、公募型プロポーザル方式により、チビッコ広場内にある遊具の一体的な整備が完了し、施設の長寿命化を図ることができた。		東野公園の遊具更新については、園内にある健康遊具の整備を実施し、施設の長寿命化を図ることができた。		
	計画額	事業費	70,000千円	8,404千円	73,000千円	140,019千円	22,000千円	22,000千円	2,000千円	2,000千円	
		国・県支出金	35,000千円	4,202千円	29,000千円	62,712千円	11,000千円	11,000千円	1,000千円	1,000千円	
		地方債		0千円				9,900千円		900千円	
		その他		0千円							
		一般財源	35,000千円	4,202千円	44,000千円	77,307千円	11,000千円	1,100千円	1,000千円	100千円	
	決算額	事業費		8,404千円		139,973千円		22,000千円		2,000千円	
		国・県支出金		4,202千円		53,712千円		11,000千円		1,000千円	
地方債			0千円		0千円		9,900千円		900千円		
その他			0千円		0千円		0千円		0千円		
一般財源			4,202千円		86,261千円		1,100千円		100千円		
①期間内計画額(R4-7)		167,000千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		167,000千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	2,000千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	公園施設更新数(累計)	健全度判定結果に基づき更新した公園施設の数	活動	箇所	計画値	2	6	8	9
					実績値	1	5	8	10
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	東野公園において、施設の更新を実施し、公園施設の長寿命化が図れた。さらに、園内の健康遊具を更新したことで、子どもから高齢者までが自然豊かな環境の中で気軽に体を動かし、健康運動を楽しめるという公園の特性をより一層高めることができた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
都市公園	長寿命化計画の対象公園である3公園(亀山公園・西野公園・東野公園)において、老朽化している施設の機能保全を行い、公園利用者の安全対策を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	令和6年度に実施した遊具更新以外の施設について取り組みを進めたが、一部の施設にしか着手できておらず、未実施のものが残っている。そのため、引き続き公園全体を一体的に捉え、利用者ニーズに応じた配置や更新のあり方を総合的に検討する必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	亀山公園内のますみ児童園及び北公園において、遊具を個別に更新するのではなく、周辺環境を意識するとともに、遊具広場を一体的に整備するため、公募型プロポーザルにより、利用者ニーズに十分に対応した遊具の更新を行う。	

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	A	A	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	建設部 都市整備課 市街地整備GL 山里 淳一
最終評価者	建設部 都市整備課長 山際 文則